

平成29年度日本小児外科学会  
第2回定例理事会議事録

日 時：平成 29 年 6 月 22 日（木） 11：00～16：00

会 場：日本外科学会 会議室

出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、窪田正幸（会長・理事）、八木 實（副会長・理事）、奥山宏臣、山高篤行、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、野田卓男（以上理事）、猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（新庶務委員長）渡井 有（財務会計委員長）、上原秀一郎（新財務会計副委員長）、浦尾正彦（新財務会計補佐）、小林 隆（庶務委員）、仁田尾慶太（事務局）

欠席者：菱木知郎（新庶務副委員長）

議事案件：

議 事：

1. 越永理事長より、理事長就任にあたっての挨拶があった。
2. 上原秀一郎新財務会計副委員長より財務会計副委員長就任にあたっての挨拶があった。
3. 新理事会発足にあたり、越永理事長より、新庶務委員として小林 隆委員（新潟大学）が承認され、挨拶があった。
4. 第2回定例理事会の議事録署名人は、金森 豊理事、野田卓男理事とした。
5. 平成28年度第6回および平成28年度第1回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。

また、平成28年度第7回理事会議事録については、修正点等あれば1週間を目途に事務局に連絡することとした。

6. 審議事項

1) 第 54 回学術集会について（仁尾前会長）

仁尾前会長より、収支決算報告については現在取りまとめているところであるが、学術集会参加者数合計は1,137名（有料1,029名、無料108名）、最終的な発表演題数は713題であったことが報告され、了承された。

また、演題登録システムの問題点として、「筆頭著者情報」が2つあり情報が混乱した点、「著者所属情報」を複数選択できない点が報告された。

2) 第 55 回学術集会について（窪田会長）

窪田会長より、資料に基づき準備状況が報告提案され、以下のように承認された。

（1）拡大評議員懇親会は拡大プログラム委員会という名称とした。

（2）第2次会告案が提示され、学会主催セミナーの医療安全、感染対策、医療倫理についてはセミナーではなく講習会とすることとし、現時点では開催予定とすることとした。

（3）海外招待講演としてDr. Udo Rolle（Department of Paediatric Surgery and

Pediatric Urology University Hospital Frankfurt)が追加された。

3) 第56回学術集会について（八木副会長）

窪田会長より、資料に基づき準備状況が報告され、了承された。

日程：平成31年5月23日（木）～25日（土）

会場：久留米シティプラザ

4) 平成29年度総合調整委員会日程について（田尻副理事長）

田尻副理事長より総合調整委員会の開催日程について、提案があり、以下の通りとなった。なお、監事、前理事長は出席を求めないこととした。

総合調整委員会

第1回 平成29年8月31日（木）13：00～16：00

第2回 平成29年10月19日（木）13：00～16：00

第3回 平成29年11月30日（木）13：00～16：00

第4回 平成30年2月15日（木）13：00～16：00

5) 委員会増設について（越永理事長）

越永理事長より業務量増大にともない委員会増設が提案され、以下の通り委員会を新設することが承認された。特別委員会として設立するNCD連絡委員会とガイドライン委員会については、この2年間の経過をみて、特別委員会ではなく各種委員会に含めるか検討することとした。

・研究倫理委員会（特別委員会として提案されたが常設委員会として継続）：従来の特別委員会である倫理委員会を研究倫理委員会として刷新する。「適正な医学系研究、臨床研究の推進とともに、研究成果の公表にかかる質と信頼性の確保を図る」目的で、研究倫理の教育研修、啓蒙や審査等の活動をおこなう委員会とし、最新の倫理指針に沿って委員を任用し、研究倫理審査が行える機能を持たせる。従来の特別委員会としての倫理委員会は廃止する。

・NCD 連絡委員会（特別委員会）：従来のデータベース委員会の下部組織であった「NCD-小児外科領域運用チーム」の業務を含め、本学会と（一社）National Clinical Database (NCD)との「外科手術・治療情報データベース事業」についての情報共有や連絡等の活動を行う。従来のデータベース委員会は学会全体のデータベースを統括する委員会として存続する。日本外科学会NCD 連絡委員会とも連絡できるようにする。

・ガイドライン委員会（特別委員会）：従来、ガイドライン等の調査・審査は学術・先進医療検討委員会が担当していたが、今般、他学会をはじめとする団体からの承認依頼が急増しており、この承認のための調査・審査にかなりの労力を費やしている。そこで、主に診療ガイドライン等の作成、検証、承認のための調査・審査を専ら行う委員会として設立する。

6) 委員会統合の是非について（越永理事長）

越永理事長より委員会統合の是非について、「研究倫理委員会」と「倫理・安全管理委員会」、「小児救急検討委員会」と「トランジション検討委員会」の統合が提案されたが、現状のまま統合せずに独立した委員会として継続することとした。なお、小児救急検討委員会」と「トランジション検討委員会」の担当理事、委員は兼任とする方針となった（委員長は兼任しない）。

7) 法人格変更作業委員会設置について（越永理事長）

越永理事長より評議員会、総会で既に作業を承認頂いている法人格変更について、作業委員会を設置することについて提案があり、特別委員会として設置することが承認された。委員については理事長、副理事長、庶務委員長、財務会計委員会補佐、前理事長、規約担当理事、規約委員長、事務局とし、司法書士のアドバイスをいただきながら進めることとした。

また、4月1日からNPO法人法が改正され、主な改正点は貸借対照表の公開が義務付けられたと報告された。

8) 各種委員会担当理事について（越永理事長）

越永理事長より各種委員会担当理事について提案があり、以下の通り承認された。

庶務委員会：田尻副理事長

財務会計委員会：田尻副理事長

機関誌委員会：奥山理事

国際・広報委員会：越永理事長

保険診療委員会：廣部理事

教育委員会：山高理事

悪性腫瘍委員会：田尻副理事長

学術・先進医療検討委員会：臼井理事

倫理・安全管理委員会：野田理事

データベース委員会：山高理事

小児救急検討委員会：奥山理事

ワークライフバランス検討委員会：廣部理事

トランジション検討委員会：奥山理事

規約委員会：金森理事

研究倫理委員会：野田理事

以下、特別委員会

NCD連絡委員会：臼井理事

ガイドライン委員会：金森理事

利益相反委員会：担当理事はおかない

9) 新庶務委員について（越永理事長）

越永理事長より会長付庶務委員として新潟大学の小林 隆評議員、理事長付庶務委員はおかないと提案があり、承認された。

10) 秋季シンポジウム委員会および秋季シンポジウム小委員会について（越永理事長）

越永理事長より秋季シンポジウム委員会および秋季シンポジウム小委員会の内規の変更について、関連領域の「小児集中治療」が提案されたが、小児外科の会長が減ってしまう可能性もあるため、見送ることとし、現行の通り、泌尿器科、麻酔科から1～2名を委員として選任することとした。

11) 対外委員のメンバーについて（越永理事長）

越永理事長より、対外委員メンバーの提案がされ、承認された。なお、日本小児期外科系関連学会協議会への対外委員については、田口評議員に確認することとした。また、専門医制度庶務副委員長について継続確認をすることとした。

日本医学会	評議員	越永従道
	連絡委員	田尻達郎
	用語委員	山高篤行
日本小児医療政策研究会		越永従道
小児救急連絡協議会		越永従道
		奥山宏臣
外科関連専門医制度委員会		越永従道
		田尻達郎
		増本幸二
世界小児外科学会連合代表		奥山宏臣
外科系学会社会保険委員会連合（外保連）		廣部誠一
		新保険診療委員会委員長
外科関連学会協議会		越永従道
		田尻達郎
小児専門管理栄養士制度合同協議会		増本幸二
日本外科学会保険診療委員会		廣部誠一
		新保険診療委員会委員長
臓器移植関連学会協議会		星野 健
National Clinical Database		越永従道
		山高篤行
		臼井規朗
		増本幸二

- 12) 専門医制度連絡会について（越永理事長）  
越永理事長より、専門医制度連絡会メンバーの提案がされ、承認された。
- 13) 平成 28 年度総合調整委員会提案事項の審議・議決について（越永理事長）  
越永理事長より、平成 28 年度総合調整委員会提案事項の課題について確認がされ、以下の点について継続審議とすることとした。
- ・学術集会プログラム委員会の役割とあり方
  - ・セミナーのあり方
  - ・秋季シンポジウムのあり方について
  - ・データベースの 2 次利用のシステム構築
- 14) メール持ち回り審議方法について（越永理事長）  
越永理事長より、メール持ち回り審議方法について以下の提案があり、承認された。
- （1）メール審議の依頼は、理事長あてに要求する。
  - （2）メール審議は事務局において年度通し番号を付し、理事長から発議し事務局から発信する。審議期間は原則 1 週間とし、返事が無い理事がいる場合は事務局が督促する。
  - （3）全理事の返事が来た段階で理事長が議決し、次回定例理事会で報告する。
- なお、メール審議開始後にメール審議すべきでないという意見があった場合は、理事長が判断し取り下げることもある。
- 15) 理事会メーリングリスト追加について（越永理事長）  
越永理事長より、理事会メーリングリスト（理事・監事・事務局）に、前理事長、庶務委員長、庶務副委員長、財務会計委員長、財務会計副委員長、財務会計委員会補佐、会長付庶務委員、理事長付庶務委員の追加が提案され、承認された。なお、機密保持に関する内規は作らないこととした。
- 16) 庶務委員会報告（藤野庶務委員長）  
藤野委員長より、資料に基づき報告がなされ、承認された。  
2017 年 5 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,840 名（うち海外 2 名）、評議員 317 名、名誉会員 52 名（うち海外 5 名）、特別会員 68 名（うち海外 1 名）の合計 2,277 名である。
- 17) 財務会計委員会報告（浦尾財務会計委員会補佐）  
浦尾補佐より、資料に基づき Web 会議導入について提案がされ、各社見積もりを取り一番費用が安かった株式会社 PhoneAppli を次回理事会に招聘し、デモを見て導入について検討することとした。

18) 各種委員会報告および審議事項

(1) 国際・広報委員会（黒田理事）

黒田担当理事より、仙台の学術集会の時に開催された委員会にて専門医制度関連の英語を統一する事を検討しており、次期委員会にこの業務を引き継ぐと報告された。

(2) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、資料に基づき第33回卒後教育セミナーおよび第7回内視鏡手術セミナーの開催報告・アンケート集計結果報告があり承認された。

第33回卒後教育セミナー受講者95名・第7回内視鏡手術セミナー受講者104名

また、卒後教育セミナーに事前申込された参加者が身内の不幸のため当日キャンセルになったことについて検討され、内規には「受講料の返還はいかなる場合も行わない。」と記載されており、募集時にはその旨記載が無かったため、次回募集時にはいかなる理由があっても参加費は返金しない旨を掲載することとした。

(3) 学術・先進医療検討委員会（八木担当理事）

八木担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

・本学会の学術資料に関する収集・調査分析と報告

学術集会発表より優れた手術ビデオを選出し、HPのビデオライブラリーに演題ビデオを追加する。第54回学術集会でも評価を行い、エキスパートビデオ2演題+点数上位2演題（12演題中）が候補に挙げられている。次期委員会では、掲載されているビデオが適切かどうかの再確認を行う。

・新生児外科全国調査と報告

前回調査より5年後に当たる2018年度の調査報告は会員からのアンケートではなくNCDデータを活用する。データベース委員会と協同し、新生児外科項目の集計ロジックを構築中である。次期委員会では、2015年分の新生児データを一度出していただき、2018年に向けて問題が無いかを最終確認する。

・会員対象のアンケート調査依頼の審査および認可

平成29年3月24日に、帝京大学内科学講座主任教授 滝川一先生、および、東北大学大学院医学系研究科小児外科学分野教授 仁尾正記先生から審査依頼のあった、「小児期に発症する希少難治性肝・胆道疾患の移行期医療に関する実態調査」に関して平成29年5月24日に委員会審議を終了し、本理事会で承認。

・先進医療及び学術的情報収集および会員への情報提供

① HP上に小児外科診療に関連したガイドライン・治療指針の掲載について、新規ガイドライン掲載候補のピックアップは終了し、委員会内で検討後、著作権許可取得も終了し、前回理事会で承認されHPに掲載した。次期委員会では、ガイドライン掲載の基準などに関して再度見直す。

② 小児外科関連 Systematic Review の掲載のHP掲載について、2016年のSR論文要約と確認を終了し、前回理事会で承認されHPに掲載した。

(4) データベース委員会 (臼井理事)

臼井 NCD 連絡委員会担当理事より、資料に基づき NCD データを利用した小児外科領域新規研究課題の公募についての審議依頼があったが、NCD を利用した新規研究課題の公募は、準備不十分のため来年度に行うことが確認された。内容については、次回理事会までに配布された資料を確認の上、次回理事会以降に審議することとした。

19) 2019 年秋季シンポジウムに関して (黒田前理事長)

黒田前理事長より、2019 年秋季シンポジウムのテーマに関して、5 月の小委員会でテーマの変更の承認が得られたので、テーマが「小児集中治療」に変更となったと報告され、承認された。

20) ピシバニールについて (黒田前理事長)

黒田前理事長より、中外製薬株式会社が販売している小児リンパ管腫の硬化療法に用いられているピシバニールについて採算が取れないので生産中止にするか社内で検討していると連絡があり、本会から厚生労働省に薬価基準の引上げについての要望書を提出してほしいと依頼があったと報告され、承認された。

## 7. 報告事項

### 1) 理事長報告 (越永理事長)

- (1) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 341」を受領した。
- (2) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 342」を受領した。
- (3) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 343」を受領した。
- (4) 厚生労働省からの寄贈本「平成28年度第16回健やか親子21推進協議会総会」を受領した。
- (5) 厚生労働省からの寄贈本「血液製剤の使用指針」の改定について」を受領した。
- (6) 日本救急医学会からの通信文「役員交代のお知らせ」を受領した。
- (7) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターno. 178」を受領した。
- (8) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターno. 179」を受領した。
- (9) 東京都生活文化局からの寄贈本「子供に対する歯ブラシの安全対策」を受領した。
- (10) さいたま市からの通信文「さいたま医療ものづくりフォーラム2017」名義使用報告書の送付について」を受領した。
- (11) 聖マリアンナ医科大学からの寄贈本「難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究」を受領した。
- (12) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol147-4」を受領した。
- (13) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol147-5」を受領した。

- (14) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol147-6」を受領した。
- (15) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報第52号」を受領した。
- (16) 三重大学からの寄贈DVD「ALTE手引き」を受領した。
- (17) 日本医学会からの寄贈DVD「第150回日本医学会シンポジウム 肥満症」を受領した。
- (18) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌第44巻第1号」を受領した。
- (19) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER5月号」を受領した。
- (20) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故調査・支援センターの現況報告」を受領した。
- (21) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故調査・支援センター事業報告【平成28年 年報】」を受領した。
- (22) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「中心静脈穿刺合併症に係る死亡の分析－第1報－」を受領した。
- (23) 難病の子ども支援全国ネットワークからの寄贈本「「がんばれ！」 vol.162」を受領した。
- (24) 日本医学会からの通信文「「日本医学会だよりNo. 57」」を受領した。
- (25) 日本臨床検査医学会からの寄贈本「熊本地震における臨床検査支援活動」を受領した。
- (26) 日本小児栄養消化器肝臓学会からの寄贈本「小児消化器内視鏡ガイドライン2017」を受領した。
- (27) がんの子どもを守る会からの寄贈本「2016年次大会事業終了報告書」を受領した。
- (28) 日本がん治療認定医機構からの寄贈本「JBCTニュース vol. 4」を受領した。
- (29) 医学教育出版社からの寄贈本「KOKUTAI FREE 2017夏No.5」を受領した。
- (30) がんの子どもを守る会からの通信文「後援名義申請書」を受領した。
- (31) 国立医薬品食品衛生研究所からの通信文「学会連携に係るアンケートへの協力依頼」を受領した。
- (32) 文部科学省からの通信文「平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞等の推薦」を受領した。
- (33) 日本病院会からの通信文「役員交代のお知らせ」を受領した。
- (34) 日本先天異常学会からの通信文「神経管閉鎖障害に関する声明文」を受領した。
- (35) 日本麻酔科学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (36) 日本外科学会からの通信文「NCD臨床研究推進委員会会議資料」を受領した。
- (37) 日本呼吸器外科学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (38) 「学会連携に係るアンケートへの協力依頼」についてを受領した。

## 2) 専門医認定委員について (越永理事長)

越永理事長より、理事長は小児外科専門医制度委員長に当てられるため、自身の専門医認定委員の辞任届を増本専門医制度委員長宛に提出したと報告され、欠員による補充については昨年の選挙で次点の尾花和子先生（愛育病院）が専門医認定委員として補充さ



れると報告された。

3) 四者協報告（越永理事長）

越永理事長より、日本小児期外科系関連学会協議会の定款、日本小児医療保健協議会合同委員会規程、四者協参加メンバーの資料が配布された。

4) 小児専門管理栄養士制度合同協議会（仮称）報告（越永理事長）

越永理事長より、日本臨床栄養学会・日本臨床栄養協会から、小児専門管理栄養士制度合同協議会（仮称）へ委員の推薦依頼があり、増本幸二評議員を推薦したと報告された。

5) 日本小児科学会カルニチン欠乏症診断・治療指針改定ワーキンググループ委員の推薦について（越永理事長）

越永理事長より、日本小児科学会から日本小児科学会カルニチン欠乏症診断・治療指針改定ワーキンググループ委員の推薦依頼として、カルニチン診断・治療指針2016の策定に協力した曹 英樹評議員、内田恵一評議員の推薦依頼があり、両先生に内諾を確認の上、推薦したと報告された。

6) 日本専門医機構第14回理事会報告（越永理事長）

越永理事長より、日本専門医機構第14回理事会について、資料に基づき報告された。

7) 理事会の進行について（越永理事長）

越永理事長より、理事会当日の進行について審議時間に長く時間を割くために、審議事項を先に行ってから報告事項を進めると説明があり、了承された。

8) 次回定例理事会日程の確認（越永理事長）

次回理事会は平成29年7月27日（木）11：00～16：00 日本外科学会会議室にて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_